

様式第2号（第5の6（1）関係）

平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書（各年度計画書）

（事業計画書作成担当者）

都道府県等の名称	北海道		
所在地	北海道札幌市中央区北3条西6丁目		
事業計画作成担当者	担当部局		
	環境生活部 環境局 地球温暖化対策室 計画推進グループ		
	TEL	FAX	
	011-204-5885	011-232-1301	

（基金事業の執行計画）

（単位：千円）

再生可能エネルギー等導入推進事業	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計	執行率
地域資源活用詳細調査事業	400	574	600			(1,574)	51.7%
公共施設再生可能エネルギー等導入事業	34,762	243,536	237,130			(515,428)	74.4%
民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業	0	0	0			(0)	0.0%
風力・地熱発電事業等導入支援事業	0	0	0			(0)	0.0%
合計	35,162	244,110	237,730			(517,002)	73.5%

平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書（各年度計画書）

（事業計画の概要）

計画の名称	北海道グリーンニューディール基金（再生可能エネルギー等導入推進基金事業）		
事業の実施期間	平成26年度	交付対象	北海道、市町村
1 平成26年度計画概要			

【事業の目的、執行方針】

防災対策の推進による道民の安全の確保及び循環と共生を基調とする環境負荷の少ない持続可能な低炭素社会の実現を図るため、地域の再生可能エネルギーを活用した災害に強い自立・分散型エネルギーの導入を支援することにより、エネルギーの地産地消を通じた地域づくりに資することを目的とし、次の観点から事業を実施します。

地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入

本道は全国トップクラスの賦存量を誇る太陽光や風力などの多様な再生可能エネルギーを有しており、こうした道内各地域に賦存する様々な地域資源の活用を目指す。道内企業が研究・開発した再生可能エネルギー導入技術や、効率の良い先導性のある技術を導入することで、他地域の先進事例となることが期待される事業に配慮する。

地域づくりの推進

地球温暖化対策地方公共団体実行計画や市町村総合計画、防災計画等で、導入する再生可能エネルギーの種別や導入する施設、導入施設におけるCO2削減効果などが明確となっているとともに、公共施設への積極的な導入や、環境教育による人づくりや産業振興など、地域づくりへの波及効果が期待できる事業に配慮する。

防災対策推進地域等への配慮

東日本大震災を踏まえた防災対策の推進の必要性に鑑み、東日本大震災財特法に基づく特定被災地方公共団体や、近い将来地震発生の可能性が高い日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域、孤立化の可能性が高い地域などに導入する事業等については、早期の事業執行が図られるよう配慮するとともに、本道のような積雪・極寒地においては、安全・安心な避難生活を確保するためには、電源の確保だけでなく、熱エネルギーの確保も不可欠であることから、地中熱や温泉熱、太陽熱などを導入する事業についても配慮する。

【事業の選定方法、監理体制】

本基金事業では、事業計画の立案段階から実施後の評価までの一連の事業プロセスにおいて効率性や透明性などを検証できる仕組みを構築するため、「北海道再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会」を開催し、実施事業の審査、評価、助言等を受けることとしています。

今年度は、平成25年度の事業実績について評価を行うほか、平成27年度事業の選定に向けて事業評価を行う予定です。

[北海道再生可能エネルギー等導入推進基金事業評価委員会の構成]

北 裕幸	北海道大学大学院情報科学研究科教授（再生可能エネルギー）	
高井 伸雄	北海道大学大学院工学研究院准教授（防災）	
平岡 俊一	北海道教育大学教育学部釧路校講師（地域づくり）	五十音順

[評価委員会の開催予定]

平成26年度第1回評価委員会

- ・平成26年5月頃を予定
- ・主な内容： 平成25年度事業の実施状況報告、事業実績の評価、平成26年度事業の計画報告

平成26年度第2回評価委員会

- ・平成26年9月頃を予定
- ・主な内容： 平成26年度事業の進捗状況報告、平成27年度要望事業の評価

【実施事業の概要】

地域資源活用詳細調査事業

本事業メニューでは、各年度事業の評価のため評価委員会を開催するほか、今後の基金事業の効果的な実施等について検討を進めるための会議を開催するなど、基金事業の実施に必要な事務を執り進めます。

公共施設再生可能エネルギー等導入事業

本事業メニューでは、前年度からの継続事業である芽室町など3事業のほか、新規事業としてむかわ町などの3事業を実施します。

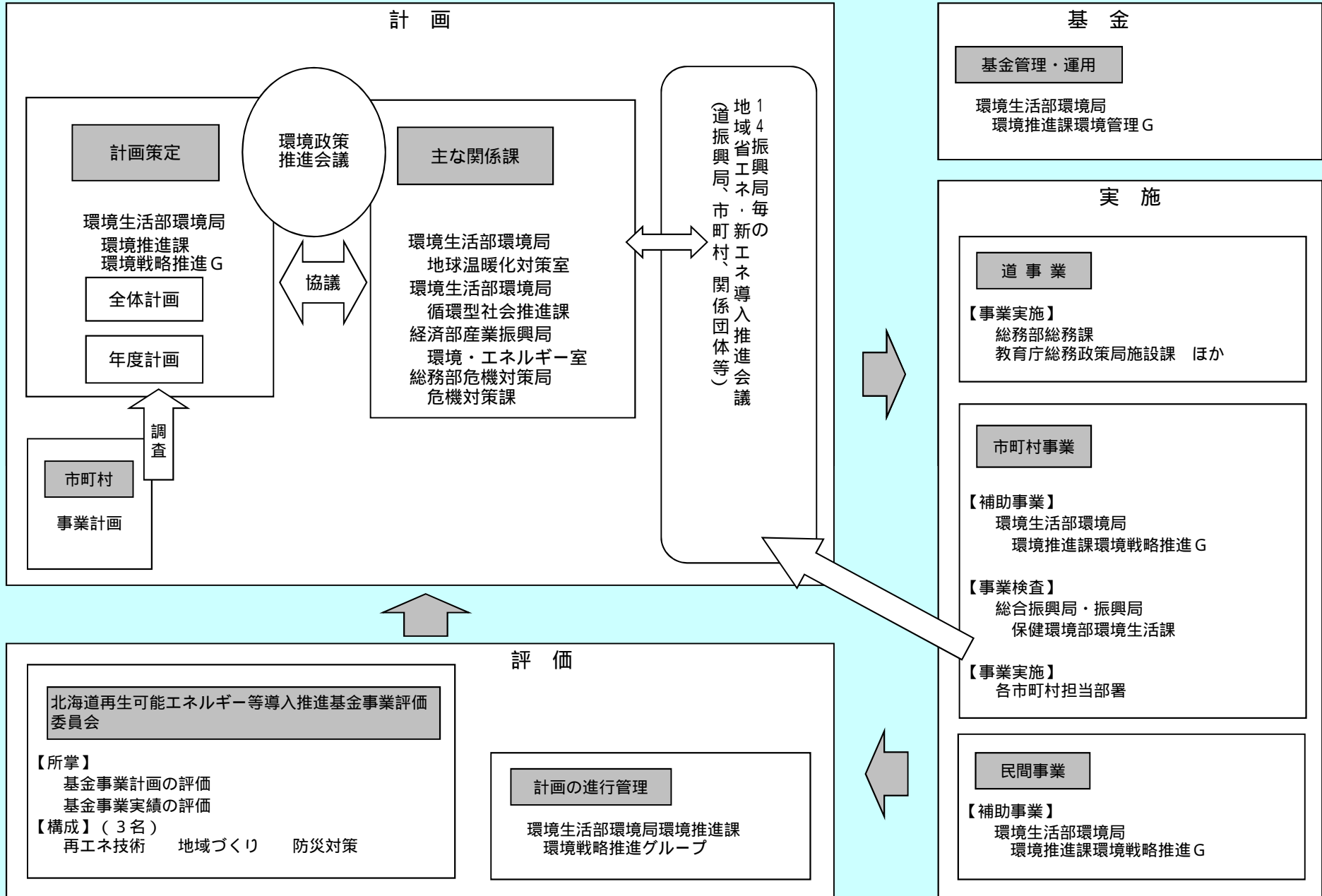
< 予定事業 >

区分	実施主体	エネルギー種別	事業期間	事業の概要
継続	芽室町	バイオマス（発電）	25～26	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されている芽室町では、町内で製造の木質ペレットを活用し、避難施設に指定された総合体育館へバイオマス発電設備を導入するとともに、コージェネレーションにより余熱も熱利用する。
	富良野市	小水力	25～26	富良野市は常時観測火山周辺市町村（十勝岳）に指定されており、災害時等に地域の避難施設となる麓郷小中学校へ、河川の水流を活用した小水力発電を導入する。
	北海道	太陽光	25～26	苫小牧市は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域や常時観測火山周辺市町村（樽前山）に指定されており、道内でも日射量の多い地域であることから、地域の避難施設に指定されている苫小牧東高校へ太陽光発電を導入する。
新規	むかわ町	太陽光	26	むかわ町は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域や常時観測火山周辺市町村（樽前山）に指定されており、道内でも日射量の多い地域であることから、災害対策本部に指定されている町役場庁舎へ太陽光発電を導入する。
	厚真町	太陽光、太陽熱	26～27	厚真町は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域や常時観測火山周辺市町村（樽前山）に指定されており、道内でも日射量の多い地域。地域の避難施設に指定されている厚真中学校へ太陽光発電等を導入するに当たり、26年度は実施設計を行う。
	石狩市	バイオマス（熱利用）	26～27	石狩市では、市総合計画や環境基本計画等において、バイオマス資源の有効活用を推進することとしており、地域の避難施設となる花川南コミュニティセンターにバイオマスボイラを設置するに当たり、26年度は実施設計を行う。

< 事業区分 >

行政機能の維持	1 施設
医療機能の維持	-
避難所等の確保	5 施設
都市機能の維持	-

【事業の実施体制】



2 平成26年度の成果目標

本基金事業では、非常時における一定程度の持続的なエネルギー供給を確保することを目的として、再生可能エネルギーの導入量、CO₂削減量、防災拠点等となり得る公共施設における再生可能エネルギーの普及率を成果指標としており、平成26年度は次の目標達成を目指します。

再生可能エネルギーによる発電量（導入量）
平成26年度で、119,312kWh/年の導入

本事業によるCO₂削減量
平成26年度で、159.4t-CO₂/年の削減

防災拠点等となり得る公共施設への再生可能エネルギーの普及
平成26年度末で、10施設の導入

項目	H24	H25	H26	H27	H28
本事業で導入した再生可能エネルギーによる発電量	kWh 10,736	kWh 106,100	kWh 119,312	kWh (20,000)	kWh (10,000)
(累計)	10,736	116,836	236,148	(256,148)	(266,148)
本事業で導入した再生可能エネルギーによるCO ₂ 削減量	t-CO ₂ 3.8	t-CO ₂ 323.1	t-CO ₂ 159.4	t-CO ₂ (192.2)	t-CO ₂ (6.9)
(累計)	3.8	326.9	486.3	(678.5)	(685.4)
防災拠点等となり得る公共施設の再生可能エネルギー普及率	1.8%	1.9%	2.1%	(2.3%)	(2.3%)
本基金による再エネ導入施設数	1力所	5力所	4力所	(3力所)	(1力所)
(累計)	1力所	6力所	10力所	(13力所)	(14力所)
目標に対する導入割合	5.6%	27.8%	22.2%	(16.7%)	(5.6%)
(累計)	5.6%	33.3%	55.6%	(72.2%)	(77.8%)

平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書（各年度計画書）

(2) 公共施設再生可能エネルギー等導入事業												
事業番号	事業名						実施主体	施設区分	事業内容	事業効果		特定被災地方公共団体
		H24	H25	H26	H27	H28				発電量 (kWh/年)	CO2削減量 (t-CO2/年)	
01000-24-2-001	広尾町再生可能エネルギー等導入事業（庁舎）	-	24,675	-	-	-	広尾町	庁舎	太陽光18kW、蓄電池4.8kWh	20,075	13.8	
01000-24-2-002	浜中町再生可能エネルギー等導入事業（ふれあい交流保養センター）	30,037	-	-	-	-	浜中町	公民館	太陽光10kW、蓄電池16kWh	10,736	3.8	
01000-24-2-003	利尻町再生可能エネルギー等導入事業（総合体育館）	4,725	55,650	-	-	-	利尻町	体育館	太陽光15kW、風力4kW、蓄電池110kWh	17,125	11.8	
01000-25-2-001	厚沢部町再生可能エネルギー等導入事業（うずら温泉）	-	62,723	-	-	-	厚沢部町	宿泊施設	木質バイオマスボイラ180kW		205.7	
01000-25-2-002	南富良野町再生可能エネルギー等導入事業（幾寅小学校）	-	52,147	-	-	-	南富良野町	学校	木質バイオマスボイラ232kW		44.4	
01000-25-2-003	美幌町再生可能エネルギー等導入事業（日並浄水場）	-	43,000	-	-	-	美幌町	上水道	小水力16kW	68,900	47.4	
01000-25-2-004	芽室町再生可能エネルギー等導入事業（総合体育館）	-	2,039	-	-	-	芽室町	体育館	木質バイオマス熱併給発電30kW、蓄電池15kWh	72,000	126.8	
01000-25-2-005	富良野市再生可能エネルギー等導入事業（麓郷小中学校）	-	2,000	-	-	-	富良野市	学校	小水力1.9kW、蓄電池20kWh	12,312	8.5	
01000-25-2-006	北海道再生可能エネルギー等導入事業（苫小牧東高校）	-	1,302	-	-	-	北海道	学校	太陽光15kW、蓄電池15kWh	15,000	10.3	
01000-26-2-001	むかわ町再生可能エネルギー等導入事業（庁舎）	-	-	-	-	-	むかわ町	庁舎	太陽光20kW、蓄電池32kWh	20,000	13.8	
01000-26-2-002	厚真町再生可能エネルギー等導入事業（厚真中学校）	-	-	-	-	-	厚真町	学校	太陽光10kW、蓄電池30kWh、太陽熱	10,000	7.7	
01000-26-2-003	石狩市再生可能エネルギー等導入事業（花川南コミュニティセンター）	-	-	-	-	-	石狩市	集会場	木質バイオマスボイラ270kW		151.8	
合計		34,762	243,536							246,148	645.7	